

作物別 収支試算シート（営農計画書の下書き）

氏名：_____ 計画年度：_____ 作成日：_____

作物	面積（a）	単収（kg/10a）	生産量（kg）（=面積 ÷10×単収）	単価（円/kg）	売上（円）（=生産量× 単価）	経費（円）	所得（円）（=売上 -経費）	根拠・メモ
合計								

- 生産量＝面積（a）÷10×単収（kg/10a）、売上＝生産量×単価、所得＝売上-経費です。Excel では生産量・売上・所得の欄と最下行の合計に計算式が入っていて、面積・単収・単価・経費を入れると自動で計算されます。経費は「経費の内訳」シートで積み上げます。
- これは提出様式ではなく、数字を固めるための下書きです。提出先（市町村・JA・金融機関など）の様式に書き写してください。
- 記入例の単収・単価・経費は架空のものです。地域や販売先で大きく変わります。

経費の内訳（作物ごと・年間）

作物：_____ 面積：_____

費目	金額（円）	算出の根拠（数量×単価など）	メモ
種苗費			
肥料費			
農薬費			
諸材料費（マルチ・資材など）			
動力光熱費（燃料・電気）			
出荷経費（手数料・運賃・箱代）			
減価償却費（機械・施設）			
修繕費			
地代・賃借料			
雇用労賃			
その他			
合計			

- 金額を入れると、最下行の合計が計算式で自動で出ます。この合計を、収支試算シートのその作物の経費に書き写します。
- 費目の例：種苗費、肥料費、農薬費、諸材料費、動力光熱費、出荷経費（手数料・運賃・箱代）、減価償却費、修繕費、地代・賃借料、雇用労賃、その他。
- 機械や施設は、買った年に全額ではなく、使う年数で分けた1年あたりの額（減価償却費）を入れます。
- 単価を市場手数料などを引いた手取りで書いた場合は、出荷経費に同じ手数料を重ねて入れないようにします。